

その他の乗物を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	7～8	岸壁で外航船舶の綱取り作業中、船尾のロープを小型ボートで引っ張っている時に、外航船舶が急にプロペラを回したためロープがプロペラに絡まり、引っ張られて、その時一緒に小型ボートもプロペラ付近まで急速に引っ張られ、外航船舶の船尾に接触して一気に傾き転覆し、沈没した。	74	170209	10	30～49
2017	1	7～8	綱取り作業中、船尾のロープを小型ボートで引っ張っている時に、外航船舶が急にプロペラを回した為、ロープがプロペラに絡まり、引っ張られて、そのとき一緒に小型ボートもプロペラ付近まで急速に引っ張られ、外航船舶の船尾に接触して一気に傾き転覆し、沈没した。	74	170209	6	30～49
2017	1	9～10	沖約3キロの海上で底置網漁中に、船から転落し、付近の海上でうつ伏せで浮かんでいるのを捜索中の漁船に発見された。	59	70201	10	1～9
2017	1	10～11	定置網切揚げ作業中、前ドラムをゆっくり巻いていたが、ロープを張りすぎて、ロープに跳ねられロープとロープの間に左手を挟まれて負傷した。	68	70201	7	—
2017	1	18～19	帰庫後、車庫から事務所へ向かう途中、車庫の出入口で右から走って来た自転車と接触した。	64	40201	3	50～99
2017	1	15～16	格納庫において、航空機の胴体上部の改修工事を実施していた。作業中に、胴体上部を歩いて移動した際、傾斜部にて体勢が崩れたため、転倒を避けようとしたところ、右足を捻る形となり負傷	49	11702	19	500～999

			した。				
2017	1	13～ 14	カート道路にて、カートに当たってしまい転倒し、左足膝に痛みを感じた。	49	140301	3	50～ 99
2017	1	8～9	リフト降り場上部板台において雪降ろし作業をしている時、リフト稼動中に、右雪を蹴って落とそうとし、ロープとの間に右足を挟まれた。	61	40101	7	—
2017	1	5～6	自転車で幹線道路で新聞配達中、80cmくらいの高さの田へバランスを崩して転倒し、救急搬送された（意識はあったが動けなかった）。	77	80205	17	30～ 49
2017	1	16～ 17	被災者が配達を終え、帰局するため原付バイクで走行中、歩道でボールを使ってふざけている小学生がいたため、念のため走行位置を中央寄りにしたところ、前を走っていた普通乗用車が右折するため速度を落としたことに気がつくのが遅れ、咄嗟に右にハンドルを切り回避しようとしたが間に合わず、相手方普通乗用車の右後方に衝突し、その際転倒したことにより左手の甲を骨折するなどの負傷をした。	23	110101	17	—
2017	1	10～ 11	岩ガキの飼育場所を変更するために運搬し、帰り際に橋下において漁船の航行波を受け、乗員4名中1名が船首付近から甲板に叩きつけられ負傷した。	56	70209	18	1～9
2017	1	8～9	バージ塗装のためのサビ打ち作業をするため、単独で現場に向かうとき、バージに船を係留しようとし、誤って海に転落したものである。事故発生時は北西の風が強く吹いていた。船の出発時、定アンカーを設置していたが、プロペラにそれを巻いており、ロープを巻いたままバージに向かっている。	47	10901	10	10～ 29
2017	2	7・8	刺網漁業に漁夫として従事している。その日は漁港内にて、甲板を洗い流す作業中、足元が滑り転倒した際に、船のへりに顔面を強打し鼻を負傷した。	30	70201	2	1～9

2017	2	9~10	交差点で右折の矢印が出たので少し前に出た時右側より救急車が来たので止まった時、後ろから強い衝撃があり追突された。ガクンと体が前のめりになり、しばらく動けなかった。車の移動時ガタガタと騒音と振動があり、後頭部に違和感を感じた。警察には連絡したが、救急車は呼ばなかった。	74	70201	2	1~9
2017	2	16~17	リフトの営業運転終了後、スノーレーサーで走行中、気温低下により凍った雪でコントロールできず、リフト9号柱（マット巻き）に衝突し、右大腿骨を骨折した。	19	40101	3	10~ 29
2017	2	15~16	故障した船を当社の沖まで曳航し、着岸前に船同士を固定する作業の際、高波に乗ってバランスを崩し、船体と船体の間に右足くるぶしを挟まれ負傷した。	27	80409	7	10~ 29
2017	2	17~18	雨が上がった後の少し湿っている程度の、学童体育第2グラウンド（高齢者コミュニティセンター）で、児童と左手をつないで、一輪車に乗っていた時、児童が転びそうになり、一緒に体勢を崩して、右手をついて、後へ転倒し、骨折した。	25	130201	1	1~9
2017	2	3~4	配達途中、坂道で自転車のペダルが空回りして転倒した為。	68	80205	17	10~ 29
2017	2	7~8	漁場の生簀で作業準備中に着けようとしていた船が強風に煽られ、船の先端が生簀に乗り上り作業員の左足膝が生簀との間に挟まり衝突後生簀内に落ちた。	38	70209	7	10~ 29
2017	3	22~23	廃棄予定のトーパーレスタグ（ジャンボジェットを運搬する車輛）の解体（ガス切り）時に、左足に解体物を当てて骨折した。	59	30209	4	1~9
2017	3	17~18	駐輪場の路上にて自転車を1台回収作業しようとした際、靴の裏に油が付着しており、足を滑らせて転倒した。そのときに近くにあった自転車のハンドルに右側胸部を打ちつけた。	32	150103	3	50~ 99
2017	3	14~15	交通量が多い県道を自転車で走行中、道幅が狭かったが、自動車の往来が激しかったのでもう少しはじに寄ろうとしたところ、小	56	130201	17	50~

			雨が降っていて路面が滑りやすくなっている状況に加え段差があり、滑って左側に転倒した。				99
2017	3	20~21	当該埠頭に停泊していたコンテナ船のタラップにおいて、コンテナ積み降ろし作業に関する書類を本船チーフに届け、同時に署名をもらいに行こうと当該船のタラップを昇っていた。雨でステップが濡れて滑りやすい状況であり、バランスを崩して右足を踏み外し、右膝をステップに打ちつけ負傷した。	33	170209	2	100~ 299
2017	3	13~14	雨天のなか、訪問介護業務のためご利用者宅へ向かい、合羽を着用し市道（山道）を電動自転車で走行中、右カーブ下り坂で転倒した(自損事故)。その際に右側から転倒し、頭部頸部・右肩～右腕・右顔面・左肋骨を打撲し、顎部に裂創を負った。周囲にいた観光客に介抱され、救急搬送された。	45	130201	17	10~ 29
2017	3	15~16	配達のため社用バイクを止めようとサイドスタンドを立てたところ、不十分であったためバランスを崩し、右側に転倒し、右足を挟み、右足中足を骨折した。	43	110101	2	50~ 99
2017	3	17~18	船上で大敷網の網揚げ作業をしている時に、ロープを船首のビットに引っ掛けての作業中、大きく船が揺れてビットに引っ掛けているロープが外れ、そのロープと船体の縁に足を挟まれ、海へ転落した。	56	70201	7	10~ 29
2017	3	9~10	船上で出航準備中、足を滑らせ高さ約1mの水槽内に転落し、左足親指を骨折した。	32	70209	1	1~9
2017	3	8~9	船上にて錨ロープ引き上げ作業中に、踏ん張っていた右足が滑り、右足首をひねった状態で倒れた為、右足首を2カ所骨折した。	59	30199	2	50~ 99
2017	3	11~12	被災者（以下、「甲」という）は、監視業務（船舶に乗り、工事現場海域へ進入する船舶等がないか警戒・監視する業務）に従事していた。甲は甲板に座っていた際に横波を受け、船舶が右に大きく傾き、バランスを崩し尻もちをつき、右手を甲板に打ちつ	47	170201	2	100~ 299

			け負傷した。				
2017	4	11～ 12	甲板員である本人は、ホタテ稚貝放流後の帰港接岸中に、カゴを船から降ろそうとしたとき、誤ってカゴを持ったまま岸壁と船体の間にカゴが挟まり、左手薬指を損傷した。	32	70201	7	100～ 299
2017	4	15～ 16	ハッチカバー上にてシリンダーの材料の配材作業に従事していた際、ハッチカバー上の作業が終了しハッチカバー上から段差をつたって甲板に降りようとしたが、雨天の為に滑ってしまいハッチカバー上から転落し、左足を強打し受傷した（高さ2m10cm）。	59	11501	1	10～ 29
2017	4	15～ 16	係船作業中、左足が滑ったので右足で踏ん張り転倒を回避した際、右足首に激痛がはした。	55	40102	19	30～ 49
2017	4	7～8	自宅から自転車で店舗に出勤する際、お客様駐車場出入り口兼納品車出入り口から、店舗の従業員が自転車をとめているスペースがある店舗裏側へ向かったところ、いつもより店舗納品口よりにとまっていた納品トラックをよけようとしてハンドル操作を誤り、ハンドルを握ったまま左頭部から地面に倒れこみ頭部を打撲した。	51	80209	2	10～ 29
2017	4	10～ 11	マーシャル業務で、15番ホールティーグラウンドより14番ホールグリーン方向へカートで逆走中、前方14番ホール定点に停車していたセルフプレーのお客様のカートが、無人の状態で発進し衝突しそうになった為、咄嗟に右足で前方のバンパーを蹴り停車させようとしたが、カート間に右足下腿が挟まり負傷した。	58	140301	7	30～ 49
2017	4	12～ 13	団地にて自転車で配達訓練を行っていた。自転車には後カゴが付いており、中に配達物を積んでいた。自転車に乗車中、車止めと鉄柱の間を通り抜けようとしたところバランスを崩し、後カゴが車止めに接触した。その際に転倒し、尻もちをついたところ、自力で立ち上がることができなかった。	56	110101	17	300～ 499
		9～	客室後方乗務員席（R2）で、着陸に備え着陸姿勢をとっていたと				1000

2017	4	10	き、機体が接地する際に通常より強い衝撃で接地し、着陸後に右肋骨背中に強い痛みを発症した。	24	40103	12	～ 9999
2017	4	5～6	当社配達員が自転車で新聞配達中に、自らバランスを崩して側溝へ転落し、左足を負傷した。	59	80205	17	10～ 29
2017	4	9～ 10	漁場に於いて、船上で網の入れ替え作業中、ワイヤーロープをドラムで引き揚げていたところ、船尾の角に引っかかっていたのが外れ、不意に張ったワイヤーロープが船上の被災者の左膝に直撃し、その衝撃で後方へしりもちをついた。	66	70201	4	10～ 29
2017	4	16～ 17	沖で網揚げをするため、ロープ2本を船首にある左右のローラーで引き揚げた時、ロープがねじれて揚がってきた。当事者が左右ローラーの真中に立って、それぞれ引き揚げるようにロープのねじれを確認しながら片方ずつ巻き取れるよう合図していた。その際に左側の木製やり出しについているローラーの軸の辺りから先の内側が折れ、そのままやり出しの部分が当事者の左足を直撃した。ただちに網揚げを中止してロープに浮を付け放し、そのまま帰港した。	46	70201	6	1～9
2017	4	15～ 16	南コース3番ホールベントグリーン左バンカーレーキングが終了し、4番ホールへ行く為、バンカーからカート道へ出る時にハンドル操作を誤り、カート道左下へバンカーライダーに乗った状態で落下し、バンカーライダーから放り出されて左頭と肘を打った。	62	140301	1	10～ 29
2017	4	7～8	一旦会社に備品を取りに行き、仕事先へバイクで移動中、信号が赤で止まろうとしたところ、ブレーキだけでは止まりきれず足をつけて止まろうとしたとき、左足を負傷した。	43	11501	2	1～9
2017	4	19～ 20	係留中のコンテナ船へのコンテナ積込船内作業を行っていたところ、梯子を持ち上げ、作業場所を移動しようとしたところ、ハッチコーミングより足場を失い、船首甲板上に仰向けに転倒し、背中及び腰を強打した。	55	50202	1	50～ 99

2017	5	5～6	網起こし作業中に足を滑らせ転倒し、ドラムに左肋骨を打ちつけ、さらに左手首と左膝を床に打ちつけて打撲し、作業困難となった。	26	70201	2	10～ 29
2017	5	17～ 18	配水管整備工事の現場で、作業終了時、自転車で工事看板撤去・回収をしていた時にバランスを崩し、左に倒れ左足首を捻った。	48	170201	17	50～ 99
2017	5	9～ 10	お客様の忘れ物の帽子を2番ホールまで届けようと、カートを運転し向かったところ、アウトコース管理道路入口付近のカーブを曲がりきれずに崖から2m程下に転落し、横転し、左腰部分を強打し負傷した。	18	140301	1	100～ 299
2017	5	7～8	港内に停泊中の船上において、漁場から船を移動させるために接岸用のロープを外そうと、船尾から船首に走って移動した時、滑って転倒した。その際、腹部横を船の仕切り材で強打した。	24	70101	2	30～ 49
2017	5	3～4	早朝に新聞配達をされていて、道路を自転車で走行中、動物が出て来て避けようとして転倒し、右足太ももを負傷した。	67	80205	2	1～9
2017	5	2～3	雨天時朝刊配達途中、お客様宅敷地内にて新聞投函後、次の配達先へ向かうため停めてあったバイクに乗ってUターンした際、バランスを崩し左側に転倒した。そのはずみで投げ出され、側にあったフェンス下方のブロックで左脇腹を強打し、左肋骨を骨折した。	53	80205	17	100～ 299
2017	5	12～ 13	店内出入口にて、置いてあったお客様の車椅子を移動しようとしたところ、慌てており車椅子が左足の上に乗り上げて左足首と左足の指を挫傷した。	28	140201	7	30～ 49
2017	5	8～9	自宅からお客様宅へ自転車で移動中、交差点で左から来た自転車と衝突し転倒し、後頭部を打った。	63	130201	17	10～ 29
2017	5	6～7	船からホイストでカキを荷揚げした後、空箱を船に戻す作業中に空箱を整理している時に左の人差し指を挟んで負傷した。	47	70209	7	1～9
2017	5	5～6	航海中、濃霧のため視界が悪く、相手船（298t）と正面衝突し	65	40102	18	1～9

			た。その衝撃で転倒し、3ヶ所の骨折となった。				
2017	5	11～ 12	浄化センター構内に入った上り坂を、自転車を押して上り切った際に平坦な路面でバランスを崩し、自転車ごと転倒し、路面で右後頭部を打った。	57	10802	2	100～ 299
2017	5	17～ 18	郵便物を出しに郵便局に自転車で行き、帰ってきてタイヤの空気が減っていたので、空気入れをしていたところ、自転車を止めるバーに足が引っ掛かって挫いた。	50	80209	2	1～9
2017	6	16～ 17	カヌー乗り場にて、船首キャストとして出航するため、カヌーに乗り込んだ際、右足首を船内床板に着地する時に捻ってしまう。	21	140302	19	10000 ～
2017	6	10～ 11	客室後方の左側乗務員席に着席し、着陸に備えた姿勢をとっていたところ、接地の際の衝撃により、左首筋に痛みを感じた。	41	40103	19	1000 ～ 9999
2017	6	8～9	基地内にて、艦船からの廃水回収用台船の接岸作業の為、綱取り兼、指示・連絡係として岸壁にて待機していた。着船の際、綱の確認や台船の位置チェックの為、岸壁から台船に渡った時に足を滑らせ、台船デッキ上に落下した。その際、デッキ上の配管に右胸部を強打してしまった。（高低差約1.5m）	47	150109	1	10～ 29
2017	6	11～ 12	ゴルフ場駐車場で、作業機械を止めたところ、ギヤがニュートラルになっていて、坂道を走り出したので、お客様の車に当たらないよう手で止めようとしたところ、左足を損傷した。	57	140301	3	50～ 99
2017	6	11～ 12	市場内で三輪バイクで直進していた時、駐車した車の横からターレット（電気自動車）が右折して来たので、避けようとしたが避けきれずに、接触した。	49	80109	6	1～9
2017	6	22～ 23	まき網漁の操業中に、近くに来た船を止めようとして手で押さえたが、止まらずに胸に当たった。	56	70209	6	10～ 29
			高所作業車を、ロングスパンエレベーター内より、移動する際、ロングスパンエレベーター枠と高所作業車の高さに余裕が無かつ				

2017	7	9~10	たため、しゃがんだ状態で高所作業車の手摺に手を掛けてコントロール部レバーを操作していたため、ロングスパンエレベーター枠上部との間に右手人差し指を挟み被災した。	32	30201	7	1~9
2017	7	10~11	17tにて網入れ作業中、ブリッジ横にあるドラムにて網を巻き揚げていたところロープがはじけた勢いで船体タツが抜け、そのタツが勢いよく右腕に当たり負傷。直ちに作業を中止した。	21	70201	4	1~9
2017	7	14~15	庭の手入作業中に、電動バリカンで植木の刈込み作業中に、誤って左手、人差し指の先を、切ってしまった。	70	70201	3	1~9
2017	7	4~5	RC造建物解体現場で、脚立にて、換気口枠を撤去中バランスを崩し、脚立から転落し左足かかとを骨折。	27	70201	7	30~ 49
2017	7	15~16	有限会社置場敷地内において、敷地内車庫点検作業にダンプ荷台から誤って足を踏みはずし転倒した。	55	40202	19	300~ 499
2017	7	18~19	着陸時、窓の外を見てまもなく接着すると認識した上で、脚は垂直におろし、手でCAシートを持つ姿勢で通常の着座姿勢を取った。着陸と同時にガツンと体にくる強めの衝撃を感じ、鋭い腰の痛みを感じた。窓側の頭上物入れが開き、窓側の酸素マスクが落下した。肩・背中痛みや違和感を旅客降機の機内整理時に自覚し、旅客降機後責任者へ報告。	29	40103	19	1000 ~ 9999
2017	7	18~19	周辺の天候がやや不安定であった。着陸の際、窓から外を見て着陸するタイミングを把握し、脚を垂直におろして座席に深く腰掛けた状態で背中を背当てにつけ、手でCAシートを持つ姿勢で通常の着座姿勢を取っていたが、着陸時にやや強い衝撃を感じた。その際に、首から背中上部にかけて痛みを感じた。機内25ABC上の酸素マスクが落下、13ABC頭上物入れが開いた状況だった。勤務終了後、遅い時間であったため、そのまま帰宅した。	24	40103	19	1000 ~ 9999
			訪問介護で一件目の訪問を終え次の利用者宅へ行く途中に発生。電動自転車で走行中雨天にて雨具装着にて視界が狭かった。車				

2017	7	11~12	道に向かって脇道より出ようとする手前にて前方から走って来た、20代男性の乗るスポーツタイプ自転車と正面衝突した。右側に自転車と共に倒れ頭部打撲裂傷出血あり、右側腹部を強打した。激痛のため動けず管理者に連絡があった。検査、治療を受けた。	48	130109	17	30~ 49
2017	7	11~12	「第三者行為災害」横断歩道上で歩行者及び自転車等の誘導中車道を渡って来た自転車に後方から激突され、そのまま転倒し頭から地面にたたき付けられ気絶してしまった。誘導場所、誘導位置には問題なかった。	65	170201	6	—
2017	7	16~17	当社敷地内で、舗装切削機をトレーラーから降ろし固定する作業の際に、固定位置を確認するため運転席の座席下パネルに左足を乗せ右足をフードに掛けた所、右足が滑りバランスを崩し負傷した。	50	40301	1	1~9
2017	7	16~17	当スタッフが2名乗りの電動カートで15番ホール売店清掃へ行く途中に16番ホール管理道（ゴルフ場スタッフが作業時に使用する道路）の見通しの悪いカーブしている箇所で逆方面から来たカートに正面衝突しカートのハンドルで左脇腹付近を強打した。事故原因は見通しの悪い箇所だったがカートを減速せずに運転していたことが原因である。	66	140301	3	50~ 99
2017	7	4~5	アスファルト舗装の公道にて新聞配達中に一段高い歩道との縁石に挟まれて転倒し、右足小指を骨折し、薬指に2cm程の切傷と出血があった。	59	80205	2	1~9
2017	7	16~17	接岸中のフェリーの出港に向けて船首側において揚荷装置を使用し、コンテナを沿岸から吊り上げ、デッキに積み込んでいた。2段積みしたコンテナに作業員が乗り、コンテナの四方のフックを外し、振れている4本のワイヤーを両手で束ねて沿岸に返そうとした際、1本のワイヤーフックがシャツに引っ掛かり、宙吊りで2m程横へ振られた後、デッキ上に足から転落した。コンテナ上	21	50202	1	30~ 49

			部に安全帯を固定する場所はなかった。				
2017	7	4～5	網揚げ中、ドラムに誤って右手を置いたままスイッチを入れ、巻き込まれ約3回転して負傷した。	76	70201	7	10～ 29
2017	7	11～ 12	施設の清掃作業中、作業用自転車を移動した際にくぼみがあったことに気づかず、足が引っ掛かり転倒し、右足首を捻り負傷した。	32	160101	1	10～ 29
2017	7	8～9	通勤のため小学校敷地に入り、駐輪場に向かって自転車で走行していたところ、スリップして転倒した。	66	120109	2	10～ 29
2017	7	4～5	A船からB船に渡るときに、波が突然来て、B船がA船から離れ、飛び移るときに波の影響でバランスを崩し、海に落下した。その際に手を船に着き、肩を捻じらせた。	34	70201	1	1～9
2017	7	12～ 13	会社に帰る途中、フットブレーキを踏み過ぎ、ブレーキが効かなくなり、動いている検診車から飛び降りた。降りたときに検診車と接触し、右足首・左脚・左腕を骨折した。	44	130109	17	100～ 299
2017	7	23～ 24	構内での軌道作業の際、本人を含め4名が列車見張員として従事するため、点呼終了後、本人はバイク（125cc）にて立哨位置に向かった。その際、駅を通過した下り坂の急カーブで、縁石を乗り越えて転倒し、負傷した。	39	170201	17	30～ 49
2017	7	14～ 15	屋外ヘリポートにて、機体の点検を実施しているとき、開いているレドームのパネルを固定している突出したピンが、自分の不注意により目に当たった。	22	40103	3	300～ 499
2017	7	12～ 13	出勤時、社員駐輪場前で自転車から降りようとして、足が自転車に引っ掛かり、そのまま倒れ左膝を強打した。	61	80201	2	100～ 299
2017	7	13～ 14	台船の接岸時、係留ロープの受け渡し中に、船のタイヤと既設防舷材に左足を挟まれ、足の甲（前半分）を多発開放骨折した。	55	170209	6	100～ 299
2017	9	3～4	船上にてホタテ分散作業中、漁具を船に積み込んでいる最中に足元が見えずに誤って足を滑らせ膝をついて転んだ。その際に右	28	70209	2	1～9

			膝を負傷し、靭帯損傷の疑いがあると診断された。				
2017	9	17～ 18	当社工場構内に於いて、修理整備のため上架したFRP船の船尾プロペラ付近でマスキング作業中、作業のため上がっていた架台上にてバランスを崩し、転落しそうになったため、とっさに左手で当該プロペラを握って掴まろうとした所、握った位置や角度が悪かったため左小指を切創負傷した。	44	11501	19	1～9
2017	9	8～9	教習場内給油所にて、給油中に送迎職員が送迎車を出庫させる際に、アクセル・ブレーキ操作を間違え、アクセルを踏み込み前方の車両及び職員に接触、負傷させた。	29	120101	18	50～ 99
2017	9	14～ 15	講習会を開催時、共同開催者の事務所に所用があり、自転車を借用し移動後会場に戻る途中、路地道から歩道のある道路で左折しようとしたところ、歩道の低い段差で自転車の前輪が滑り転倒し負傷した。	66	170209	17	1～9
2017	9	1～2	離陸15分後、前方ギャレーにて機内サービスの準備を開始した際、床面に500円硬貨2個分程度の大きさの濡れがあり足を滑らせた。斜め外側方向に左膝を向けてしまい、無理な力がかかり足をひねり受傷。当該患部を瞬間冷却パックで冷却を実施し、帰国まで市販湿布薬および包帯にて冷却・固定をした。	32	40103	19	1000 ～ 9999
2017	9	11～ 12	支店の駐輪場にて、自転車に乗って会社へ戻ろうとしたところ転倒してしまった。	46	140201	2	30～ 49
2017	9	16～ 17	キャディ業務終了後に行っていた新人研修の帰り、乗用カートでクラブハウスに戻っているとき、カートの後部座席に座っていた、カートが練習グリーン横のカーブを曲がる際に、遠心力で自分の体を支えきれずカートから転落し、地面を数回転がったとき、右足親指を強打し骨折した。	26	140301	1	30～ 49
2017	9	22～ 23	本人が乗り移ろうとした際、思いがけない波の影響で船が大きく揺れ動いた為、バランスを崩して転倒し腰を痛めた。	42	70201	2	30～ 49

2017	10	8～9	本人は、サケ定置網漁業に従事している。荷揚げ中、船の漁槽内に降りようとした際に足を滑らせ転倒してしまい、左肩を強打し受傷した。受傷後、様子を見ていたが痛みが強くなってきた。左肩腱板断裂と診断された。	73	70201	2	1～9
2017	10	10～11	ししゃも漁業操業中、洋上にて網上げ作業中、Vローラ（巻き取り機）に、上の合羽が巻き込まれてしまい胸を圧迫されて負傷した。	49	70201	7	1～9
2017	10	11～12	さけ定置漁業に従事している者で、漁船を係船し、甲板上を掃除していた際、魚倉のフタが1枚開いていたことに気付かず、そのまま魚倉内に転落したものの。	59	70201	1	10～29
2017	10	16～17	カート洗いをしている際に、洗浄機のホースが他スタッフの運転するカートのバンパーに引っ掛かり、持っていたホースに引きずられ転倒した。	64	140301	2	50～99
2017	10	14～15	自転車で訪問先から会社へ戻る途中、スマホを手に歩いてきた女性を避けようとブレーキをかけた際着地した足をねじり転倒した。	66	90103	2	50～99
2017	10	17～18	着陸を認識し、乗務員用シートに通常の着座姿勢を取っていたが、大きな音とともに強めの衝撃があった。一部の旅客はびっくりした様子で、小さく声をあげている人がいた。腰に強く負荷がかかるのを感じたものの、痛みは無かったためチーフパーサーへの報告はしていない。次便乗務終了後、自宅への帰宅途中から徐々に痛みが出てきた。	27	40103	19	1000～9999
2017	10	15～16	建造ブロックの上で、上部のハッチ開閉用レールを溶接作業するのに墜落防止柵の中に入り、スライド式ハッチを開放中にバランスを崩し、開口部から約7m下に墜落した。	24	11501	1	1～9
2017	10	12～13	当社ゴールドコース4番ホールにおいて、自動運転のカートをリモコンで動かしながらお客様のボールを確認作業中、確認に気を取られ左足をカートの前輪に踏まれ負傷したものの。	63	140301	7	50～99

2017	10	6~7	定置網の修理のために漁場でロープの補修を行い終了後、本船に乗り作業船が当たらないようにロープを調整中に、本船のピットとロープの間に挟み、左手親指を負傷する。	67	70201	7	1~9
2017	10	10~11	セメント積み込み栈橋でセメント製品を積み込みしている船舶に、協定業務のため乗船した。陸上設備上方に設置している確認用パトライトを視認した後、振り返り、本船事務室に向かおうと踏み出した際、デッキ上に設置している消防用水パイプに左足が引っかかり転倒し、左膝を強打した。	28	50202	2	10~29
2017	10	11~12	事務所で資材倉庫の片付作業（台風対策）が終了し、停泊している作業船（5t未満7.78m）に3人が乗り、港を出てすぐに、波が高く船の先端が持ち上がり、船首附近に乗っていた被災者がバランスを崩し、デッキで臀部を強打し左大腿骨転子部を骨折したものの。	24	30199	90	10~29
2017	10	15~16	作業終了後、係留場所（公共岸壁）に停泊係留中、船首のビットにロープを掛けている時、ロープの掛ける輪が船首ビットとほぼ同じ大きさであったことと、船のロープを取るため、船が後退し船首ロープが張っていたことが原因で、掛けようとしていた右手の親指が挟まれ指先が欠損した。	63	170209	7	30~49
2017	10	17~18	作業が終了し、自社船にて帰港した。岸壁に係留するため係留ロープを岸壁に取りに行き、戻った際に、船の縁に足をかけたところ、近くを運行していた定期船の波を受け自社船が大きく揺れた。体のバランスを崩し、岸壁の通路側に転倒し右手指を負傷した。	65	30111	2	10~29
2017	10	15~16	海苔養殖漁場へ行き箱船より船外機（エンジン）を親船で受け取る際波によりバランスを崩し生け簀にひっくり返り落ち、腰を強打し受傷したものの。	46	70209	2	1~9
			作業場であるハウスまで向かう途中、道路の左側の用水路に落ち				

2017	10	7~8	た。早出の理由は作業にまだ不慣れのため早めに出勤し準備をするため。	31	60101	2	1~9
2017	10	19~20	内科クリニック前にあるポストの収集のため、車から降りて歩いてポストに向かおうとした際に後方から来た無灯火の自転車のカゴおよびハンドルが左手と左腹部に接触し、左手首を骨折した。	29	40301	6	30~49
2017	11	5~6	受傷者は刺網漁船の乗組員で、投網作業中に船が波を受け、大きく揺れた際に体勢を崩し転倒し頭部を強打し負傷した。意識が朦朧としていた事から、すぐに帰港を開始し、入港後すぐに救急車で病院へ搬送された。	58	70201	2	1~9
2017	11	7~8	台車を引っ張り出す際に延長レールを引くのを忘れ台車を引っ張り出した為、台車が傾き固定子が台車より滑り落ち、頭部・上半身に直撃し地面と挟まれた。	55	160101	2	30~49
2017	11	11~12	カット・洗浄済みの野菜とその下に敷く鉄板を台車に乗せ、冷蔵室前に移動した。先に鉄板を冷蔵室に運び入れる時、効率よく作業しようと鉄板を3枚持ち上げた時、手が滑り右足親指辺りに落下した。	63	80205	2	30~49
2017	11	14~15	当社作業場内において、納品を終えた商品（ビール粕飼料）運搬用トラック（10t車）を所定位置に駐車後、運転席から降りようとした際、バランスを崩し転倒した。その際、地面に右肩を強打し、負傷したものである。	62	140301	2	50~99
2017	11	17~18	作業場内において脚立を使用して、プレジャーボートのオイル交換作業中に、約2mの高さから誤って転落して頭部を強打した。	53	80209	1	1~9
2017	11	8~9	シラス漁の為出港した。網を投入前に海に転落した。ロープの浮けに?まっていたが、ロープが急に締まり指を欠損した。	61	70201	1	1~9
2017	11	17~18	食器洗浄係の被災者は夕方に仕事を終え自転車で帰る途中、場内道路の下り坂でスピードを出して走行していたためバランスを崩して転倒し、道路左側溝に落ちてしまった。右顔面と右腕に擦	70	140301	2	100~299

			過傷を認め救急車を手配し、病院で治療を受けて、一泊して次の日に帰宅した。				
2017	11	11~12	運行中、バス停において、車椅子をご利用のお客様がスロープを上られる際に、前進スイッチを入れていただくようにお声掛けし、車椅子を後ろから介助したものの、お客様のスイッチ操作がおぼつかなかったのか前進スイッチが突然切れてしまい、予想以上の重みがかかり、右肘に痛みを感じた。	56	40202	19	100~299
2017	12	9~10	ウニ潜水作業をしている際、船でエンジントラブルが起こった。船の操縦が効かなくなり、流されていった。危険だと判断し、潜水士を浮上させようと試みていたが、船に上がるためのハシゴが岩礁にぶつかり壊れてしまった。乗組員が潜水士を支えているが引き上げられていなかったため、ブリッジから出て手伝いに向かった。3人で上げようとしていたが上がりず、エンジンを止めてくるよう指示を出した。2人で支えていたときに大きく船が揺れ、海中へ転落した。	71	70201	18	1~9
2017	12	14~15	漁船で操業中、中甲板（作業場）で漁獲物の選別作業中に魚箱を取ろうと腕を伸ばしたところ体勢を崩し、誤って魚艙に転落し、肩を中段板に激突させ負傷した（中甲板から1.5m下に転落）。	36	70201	1	10~29
2017	12	17~18	当社社員が配達を終え、駐車していた車へ戻る際に後方から接近してきた自転車に追突され転倒し負傷した。相手自転車は逃走し、警察署へ傷害事件として被害届を提出した。	26	110101	3	500~999
2017	12	19~20	デリバリーを終え、店に戻る時、一旦停止のない交差点に進入したところ、出合いがしらの左側からの車に衝突し、転倒して負傷した。	17	80209	17	10~29
2017	12	8~9	新しい職場なので、舟の砂利採取の様子を見せるために小舟に乗ったところ、躓いたのかバランスを崩して転び、頭と腰をぶつけて転んだ。	48	40309	2	10~29
			勤務地に自転車で出勤途中、施設内の駐車場に乗り入れたとこ				

2017	12	5~6	ろ、死角に駐車してあった車を発見して慌ててブレーキを掛けたが、左横に転倒し、左側に止めてあった車に左肩を強打した。	74	130201	2	30~ 49
2017	12	14~15	プレーを終えて帰って来たカートの後方で、クラブ確認作業を行っていたところ、後続のプレーヤーのカートが戻って来た際、追突防止センサーが働かずに追突したため、肩を挟まれた。通常、カートの電源を入れておくことで追突防止センサーを作動させているが、今回は電源を切っていたため、センサーが働かなかった。	66	140301	6	30~ 49
2017	12	4~5	海苔枠に入った船を救助するため、漁場に向かい作業を行っていたところ、船の上から船底を見るために開閉出来るボックスが破損していたのに気がつかず、落下した。	55	10109	1	1~9
2017	12	12~13	空港内の当社格納庫入口付近において、航空機の整備のため、機体を牽引車両で格納庫に入れようと牽引車両を動かした際、何らかの原因で航空機の左主脚が折りたたまれたことで、機体が左に傾き、当該者が左翼と地面との間に挟まれた。救出後、搬送先の病院で死亡した。	31	40103	6	300~ 499
2017	12	23~24	接岸中のチップ船（40.269t）のNo.3ハッチでチップ荷揚作業中（ユンボ担当）、休憩のため休憩場所へ移動する際、船に設置されている階段下付近で倒れている被災者をホールド担当の作業員が発見した。	42	50202	1	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html